

# 市議会だより



発行 伊東市議会 議長 佐藤一夫  
編集 議会報編集委員会  
伊東市議会事務局  
電話32-1981(直通)FAX38-6916

大室山

## ～いで湯のまち伊東温泉～



伊東温泉の湧出量は毎分3万ℓを超え、別府、湯布院、草津などととも、全国屈指の湧出量を誇ります。  
泉質は単純泉と弱塩泉がほとんどですが、含石膏塩土類泉や硫酸塩泉なども見られ、数種類の泉質が存在します。

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。  
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 9月定例会の概要……………【P.2】
- 代表質問（5議員が登壇）……………【P.6】
- 一般質問（5議員が登壇）……………【P.8】
- 常任委員会だより……………【P.11】

市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、ホームページでもごらんになれます。  
(9月定例会会議録は、11月下旬発行・公開の予定です。)

# 平成20年9月定例会

## 平成19年度

### 一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

9月定例会を9月2日から9月30日までの29日間の会期で開会しました。

## 平成19年度 決算概要説明 (要旨)

平成一九年度一般会計当初予算は、「健康増進、観光振興、行財政改革」の「3つのK」の発展・充実を念頭においた編成とし、サマーレビューで見直した事業費を予算要求の上限とするとともに、五〇事業を見直し、経費の節減を図る一方、新規に城ヶ崎海岸門脇駐車場拡張事業や木下奎太郎記念館生家改修事業、元気のある地域づくり応援事業等に着手することとしました。

その結果、一般会計の予算規模を二一六億七七〇〇万円と、前年度を三・一％上回る前向きな予算とし、生活保護扶助費や台風九号等による災害復旧事業費の増額補正等を行い、最終予算規模を二二六億八〇一四万四〇〇〇円としました。執行に当たっては、限られた財源の有効活用を意を注ぎ、現場を大切にしながら、市民の視線に立った施



決算概要を述べる伊市長

策を実施し、「伊東再生」に向けた歩みを進めてきました。

一般会計の歳入決算では、自主財源の重きを占める市税が、対前年度比五・八％増加し、依存財源では、県支出金が対前年度比二〇・七％増加したものの、地方譲与税が六九・五％、地方交付税が一四・二％、市債が一・一％減少し、決算額は二二四億四一五万三〇〇〇円で、対前年度比〇・二％の減となりました。歳出決算では、経常経費における人件費が、職員給与や議員報酬等の見直しにより前年度を一・一％下回りましたが、扶助費が二・四％、公債費が三・二％増加しました。投資的経費では、普通建設事業費の補助

事業費が、電線類地中化事業の完了により、対前年度比三五・七％の減で、単独事業費では、汐吹公園整備事業や一碧湖・大室線改良事業等の新規事業を実施したものの、街路事業の大幅な減額等により、前年度を四・四％下回り、普通建設事業費全体では、対前年度比で一〇・二％減少し、決算額は二二一億九〇三万九八〇〇円で、対前年度比〇・五％の減となりました。

なお、歳入歳出差引額は二億五一一万五〇〇〇円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、前年度を三二・二％上回る二億四七八万四〇〇〇円となりました。

病院事業会計では、全国的な医師不足の中で、整形外科の補充を欠くものの、懸案の産婦人科では十分な医師を配置することができ、外来患者数は前年度を下回ったものの、患者紹介率、入院患者数が前年度を上回るなど、病診連携を着実に進めており、また、入院収

益、外来収益とも前年度を上回り、安定的な経営が図られております。

このような中、市民の多様な医療ニーズに対応していくため、伊東市新病院建設諮問会議を設置し、新病院建設の具体化に向けた一歩を踏み出しました。

収益的収支は、収入が三五億五五八万五〇〇円、支出が三五億八六五万八〇〇〇円で、当年度純損失は三〇八万五〇〇〇円となり、資本的収支は、収入が一億九五〇万四〇〇〇円、支出が二億三三三万六四〇〇〇円で、三七八六万円の不足となり、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

水道事業会計では、市内経済の現状や節水機器の普及等により、水道料金収入が減少傾向にあります。職員数の見直しや、外部委託の推進に努めました。収益的収支は、収入が一億五九一〇万円、支出は一六億六三〇万八〇〇〇円で、二億二二八万五〇〇

平成19年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定 ○賛成多数で認定

区分 会計別	歳 入		歳 出		審議 結果	
	決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)		
一般会計	22,441,512,747	98.95	22,190,397,487	97.84	○	
特別会計	下水道事業	2,373,127,270	89.31	2,359,028,799	88.78	◎
	競輪事業	14,724,481,243	93.01	15,322,643,868	96.79	◎
	国民健康保険事業	10,690,773,245	103.30	10,088,221,572	97.48	○
	交通災害共済事業	4,036,284	99.81	4,036,284	99.81	◎
	土地取得	134,659,022	100.00	134,618,357	99.97	◎
	老人保健	6,772,098,309	97.58	6,793,381,473	97.89	◎
	霊園事業	145,184,610	99.38	145,102,990	99.32	◎
	介護保険事業	4,883,274,740	97.67	4,867,460,366	97.35	◎
	介護老人保健施設	39,361,809	99.90	39,221,128	99.55	◎
合 計	62,208,509,279	97.53	61,944,112,324	97.12	—	

区分 会計別	収 入		支 出		審議 結果	
	決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)		
企業会計	病院事業 収益勘定	3,555,805,124	97.83	3,586,658,429	97.60	◎
	病院事業 資本勘定	195,504,000	100.00	233,363,512	100.00	
	水道事業 収益勘定	1,859,099,561	102.65	1,606,308,462	97.25	◎
	水道事業 資本勘定	377,740,200	102.77	1,085,002,177	95.64	

○円の当年度純利益を計上しましたが、資本的収支は、収入が三億七千七百万円、支出が一億八千五百〇〇万二〇〇〇円で、七億七千二百六十〇〇〇円の不足となり、損益勘定留保資金等で補てんしました。

本市の財政は、平成一九年度以降、財政健全化債や退職手当債の借り入れによって黒字を確保するという厳しい状況が続いています。が、実質収支比率や積立金

現在高等が上昇傾向に転ずるとともに、起債残高も減少を続け、健全化判断比率は健全段階を示すなど、「伊東再生」を最重要課題とした改革への取り組みの成果があらわれつつあります。

本決算の意義を真摯に受けとめ、「3つのK」のさらなる飛躍・発展へとつなげるため、「伊東再生」をなす遂げるため、引き続き、最善の努力を傾注してまいります。

本会議で  
行った討論(概要)

■平成一九年度伊東市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

《反対 日本共産党》

一九年度は国保税の引き上げを行ったが、国保加入世帯は生活困難世帯が多い。滞納世帯の多くが五〇〇万円以下の低所得世帯であり、資格証明証の発行は、約二〇〇世帯にも及んだ。

一方、国保への国負担分を臨調行革以前の率に戻せば、計算上、増税の必要はない。また、一般会計からの繰入金も、三億円余にしたことから、増税しない選択は、十分可能であった。

国保は、国民皆保険制度の最後のとりでであり、住民の命綱となるものであることから、国に対し、社会保障としての位置づけを明確にする改善を強く求めるとともに、住民負担がこれ以上過大にならないよう希望し、反対討論とする。

■平成一九年度伊東市一般会計歳入歳出決算

《反対 日本共産党》

現状では、副市長二人は必要ない。県事業に係る各種負担金等は優遇する一方で、教育相談員等の人件費などの減額、在宅福祉介護手当に係る所得制限など、市民には冷たく、過酷な「行革」を押しつけるとともに、退職自衛官の臨時職員への採用に係る賃金格差に加え、武力攻撃事態等に係る計画の策定等、憲法に反する法律の具体化は認められない。

また、マリンタウンへのウッドデッキの建設よりもむしろ、市内にその客を呼び込むための施策こそが求められている。さらに、ごみの有料化では、ごみは減らないだけでなく、不法投棄にもつながり、観光施策にも逆行する。

以上の観点から、決算の認定に反対する。

《賛成 自民輝21》  
依存財源が減少する中、市税や使用料等の自主財源

の確保に努めるとともに、人件費の削減、義務的経費の伸びを抑える一方、新病院建設に向けた地質調査、災害に備えた公共ヘリポート整備事前調査、元気のある地域づくり応援事業等、市民の生命財産を守る事業や市民の目線に立った事業を実施したことを評価する。

また、観光施策においても、門脇駐車場を拡張し、有料化に向けた施策を展開したことは、本市にとって有益な事業として評価する。

平成一九年度を通じ、経費の削減、実質収支の改善、市債残高の減少、基金の増額などが見られ、「伊東再生」の効果が顕著にあらわれた決算であり、賛成する。

《賛成 会派民政》  
二億四〇〇〇万円余の繰り越しができたこと等、努力はうかがえるが、健康保養地づくり事業で実施した、健脳健身教室などの事業効果等が定かでない、マリンタウンに設置した機器は、広く市民が利用できず、施設の整備や広報に加え、だれ

もが賛同し、参加できる事業とすべきであったし、同所へのウッドデッキ設置は、市内への誘客に効果もなく、市予算支出も理解できない。さらに、元気のある地域づくり応援事業は、使途に対する指導が必要であったし、ごみの有料化は、分別の徹底が先であり、市民を一層苦しめることになる。以上の意見を今後の市政の参考とされるよう申し上げ、認定に賛成する。

健康増進、観光振興、行財政改革の「3つのK」の推進を評価するが、生活保護費等の占める割合が高く、市民の目線は厳しいことと、教育費は人材育成に係る必要な投資と考え、増額すべきであると指摘する。

情報発信基地としてのマリントウンの役割は不十分であり、反省を求める。

また、我が会派が提案する、商業活動の活性化に向けた人口増加策への早急な対応、資源リサイクルシステムの構築によるごみの減

量化、おもてなしの心を前面に出した、観光地づくり等を推進していただきたい。新年度予算は、「教育」と「環境」を加えた「5つのK」が柱となることを期待し、認定に賛成する。

《賛成 公明党》

自主財源が歳入全体の六三・五%を占め、前年度比五%の増加は、三位一体改革に伴う税源移譲やコンビニ収納、徴収員の活用、市税等特別滞納整理等による市税の収納率が向上したことが要因であり、あわせて、重要施策である健康増進、観光振興、行財政改革の「3つのK」を念頭においたサマリーレビューを通じ、経費節減や人件費削減を行ったことによる財源確保が図られたこともその要因である。

この貴重な財源は、観光振興、医療施設設置基金への積み立てに充てるなど、予算の重点配分に意を尽くされたと判断するものであり、さらなる伊東再生への取り組みを願うとともに、観光振興の広がりを期待し、

認定に賛成する。

《賛成 正風・興志会》

歳入における固定資産税等の減収があつたものの、税源移譲による市民税や使用料及び手数料等の増加により財源確保を図り、歳出では、多数の事務事業や職員給与を見直し、得られた財源を有効かつ効果的に活用したことを評価する。

また、生活道路の整備、城ヶ崎門脇駐車場拡張事業を初めとした新規事業への着手、各種イベントの実施、商店街の活性化策等、市民の目線に立った施策を実施し、伊東再生の歩みを確実に進めたものと高く評価する。

新年度予算の編成に当たっては、今決算状況を考察しつつ、活力ある地域社会づくりと市民の福祉向上に全力で取り組まれることを期待し、認定に賛成する。



平成19年度一般会計歳入歳出決算 起立採決

## 市議会9月定例会で審議した議案等

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市認第7号 と 市認第18号	平成19年度伊東市一般会計歳入歳出決算、以下、9特別会計歳入歳出決算と2企業会計決算	※各決算の概要は、3ページの各会計決算の表をごらんください。	市長	3ページの各会計決算の表をごらんください。
市報第5号	平成19年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）の規定に基づき、平成19年度健全化判断比率と、病院事業会計、水道事業会計、下水道事業特別会計の資金不足比率を報告	市長	(報告、質疑のみ)
市議第7号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	地方自治法の一部を改正する法律（平成20年法律第69号）の施行に伴い、特別職の報酬から議員の報酬の規定が分離されるとともに「議員報酬」に改められたことによる関係条例の整理	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	内 容	提出者	審議結果
市議第8号	ふるさと伊東応援基金条例	ふるさと納税制度を導入するに当たり、全国から募った寄附金を積み立て、財源として活用するため、ふるさと伊東応援基金を設置	市長	全会一致で可決
市議第9号	伊東市自転車競走実施条例の一部を改正する条例	自転車競技法の改正に伴う引用条項の整理と、各地区自転車競技会が、財団法人日本自転車競技会に統合されたことによる当該条項の改正	市長	全会一致で可決
市議第10号	平成20年度伊東市一般会計補正予算(第1号)	保育園、南小、対島中学校屋内体育館等の耐震診断や耐震補強計画の策定、小室コミセン屋根改修工事、誘客宣伝事業費など、歳入歳出に2億9,420万6千円を追加	市長	全会一致で可決
市議第11号	平成20年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	前年度の事業費の確定に伴う国庫支出金や療養給付費等交付金返還金など、歳入歳出に3億2,715万7千円を追加	市長	全会一致で可決
市議第12号	平成20年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	保険給付費支払準備基金積立金の追加や介護予防事業費支払い基金交付金の返還金など、歳入歳出に1,958万7千円を追加	市長	全会一致で可決
発議第3号	学校耐震化に関する意見書	文部科学大臣ほか関係機関に提出	議員 6名	全会一致で可決
発議第4号	森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書	農林水産大臣ほか関係機関に提出	議員 6名	全会一致で可決
市選第1号	教育委員会委員任命の同意について	佐々木 誠氏(宇佐美)	市長	全会一致で同意
市選第2号	"	上村昌延氏(富戸)	市長	全会一致で同意
市選第3号	監査委員選任の同意について	谷口 豊氏(中央町)	市長	全会一致で同意
陳情第5号	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情	陳情者：伊東の子どもをよくする会 代表 斉藤十郎氏 伊東市立保育園父母の会連合会 代表 丸山 淳氏		不採択とすべしとした委員会報告に対し賛成多数で不採択

委員会の構成

<b>常任総務委員会</b>	委員長 久保谷廠司(正) 副委員長 稲葉正仁(自) 委員 掬川武義(民) 鈴木克政(民) 西島 彰(正) 井戸清司(清) 佐藤美音(共)
<b>常任観光建設委員会</b>	委員長 大島春之(共) 副委員長 鳥居康子(公) 委員 伊東良平(民) 横沢 勇(民) 稲葉富士憲(清) 三枝誠次(自)
<b>常任福祉文教委員会</b>	委員長 浅田良弘(民) 副委員長 楠田一男(公) 委員 竹田昭直(民) 土屋 進(正) 佐々木 清(清) 重岡秀子(共)
<b>議会運営委員会</b>	委員長 伊東良平(民) 副委員長 久保谷廠司(正) 委員 浅田良弘(民) 土屋 進(正) 鳥居康子(公) 佐々木 清(清) 佐藤美音(共)
<b>議会改革特別委員会</b>	委員長 佐藤美音(共) 副委員長 西島 彰(正) 委員 掬川武義(民) 浅田良弘(民) 竹田昭直(民) 久保谷廠司(正) 鳥居康子(公) 井戸清司(清) 佐々木 清(清) 三枝誠次(自)
<b>医療問題特別委員会</b>	委員長 鈴木克政(民) 副委員長 大島春之(共) 委員 伊東良平(民) 横沢 勇(民) 土屋 進(正) 楠田一男(公) 稲葉富士憲(清) 重岡秀子(共) 稲葉正仁(自)

※佐藤一夫議長(公)、宮崎雅薫副議長(正)は、それぞれ総務委員、観光建設委員に就任していますが、正副議長職に専念するため、委員活動を辞退しています。

会派略名：(民)会派民政 (正)正風・興志会 (公)公明党 (清)清峰クラブ (共)日本共産党 (自)自民輝21

# 代表質問

## 平成19年度各会計決算及び 市長の政治姿勢について 5会派から質問

(登壇順に掲載)

国際観光温泉文化都市としての観光施策について



会派民政  
伊東良平議員

三つのKのうち「観光」が最重要事項であると思うが、観光費の決算額は約六億七〇〇〇万円、歳出に占める割合は三%である。

国際観光温泉文化都市として、歳出全体の構成比から、観光施策の展開が十分になされ、所期の目的が達成されたと思われるか。

苦戦の続く観光地の中では善戦している

市長

観光施策については、独自性をもった誘客イベント、魅力ある観光資源の掘り起こし、広報宣伝事業に取り組むとともに、富士山静岡空港の開港を控え、外国人観光客の誘客活動にも取り組んだ。

そのような中で、平成一

九年も年間宿泊者数が三〇〇万人を超え、苦戦の続く観光地の中では善戦しており、概ね所期の目的を達成したと認識している。

今後さらに、関係団体等と協調し、国際観光温泉文化都市としての基盤整備にも努めていきたい。

『その他の質問項目』  
■市内の景気動向と市民要求について

■育英奨学金の利用者の拡充及び医師不足解消のための奨学金制度の創設について

■固定資産税、都市計画税の南部地域への還元について

■主要県道伊東大仁線県単道路改良事業について



伊東マリントウンに新設されたウッドデッキ

市税の収納率の向上策及び不納欠損への対応策は



正風・興志会  
久保谷廠司議員

市税の収納率は、近年回復傾向にはあるが、収入未済額は約二七億円と膨大な額であり、不納欠損額も約二億円となっている。

本市の運営基盤をなす市税収入は、住民福祉向上に還元する仕組みの源であり、市税徴収業務は堅実に行われているが、税負担の公平性の観点から、収納率のさらなる向上策、不納欠損への対応策について伺う。

新たな滞納発生を抑止し、適正な欠損処理を努めたい

市長

収納率の向上策については、口座振替や、コンビニ収納の利用促進など、新たな滞納の発生を抑制する努力を行うとともに、差押処分等、さまざまな対応を図

つているところである。納付困難な方には早期の面談を心がけ、納税相談や分納促進などに努めている。

不納欠損処理については、滞納者の財産、生活状況等の調査を行う中で、地方税法の規定に基づき適正な執行に努めたい。

『その他の質問項目』  
■平成一九年度決算を踏まえ、財政構造、市債及び基金について

■市長の政治姿勢について  
・通称伊豆半島サミットの今後の運営について

・競輪事業について  
・新市民病院について  
・新型インフルエンザの保健医療対策について



収納率の向上に努める伊東市

定住者増加のためのインフラ整備について伺う



清峰クラブ  
稲葉 富士憲 議員

財政や経済活性化の面から、人口増加に向け、積極的に移住者を受け入れるべきであり、インフラ整備はその最低条件であるが、昭和三〇年代に開発された分譲地の中には、分譲した会社が破綻し、管理業務を自治会が担っているところもあり、特に水道管の老朽化が激しく、対応策を模索している。

水道等インフラ整備が進んでいない分譲地に対する対応と、将来の展望を伺う。

市南部地域の水道の拡張事業を進めている

市長

民間事業者が水道を供給している分譲地については、応分の負担等、条件が整いしだい市水道への統合を進

めるとともに、市南部地域の拡張事業により、施設等の整備を行い、安定給水を図っていく。

『その他の質問項目』

■平成一九年度決算から

- ・新病院建設、環境美化センター改修等大規模事業に伴う経常収支比率の推移と必要な投資的経費の確保について
- ・新病院建設に踏み出すに至った理由

■市長の政治姿勢について

- ・都市圏からの移住者の増加を図るための施策
- ・職員に高い志を持たせるための施策とその評価
- ・職員の仕事量の増大に対する対処策について



市南部地域の遠景

重篤患者が山越えしないうで済む市民病院とするための診療科の充実、スタッフの確保について



日本共産党  
佐藤 美音 議員

重篤患者が山越えすることで命を奪われる悲しい事態を食いとめたいと、市民は長年切望してきた。

新病院において、その願いにこたえる医療の充実、診療科の充実、医療スタッフの確保をどう進めるのか。

要望の多い診療科、救急部門等の充実、強化を図る

市長

市内で対応が困難な場合は、市外の第三次救急医療機関に搬送されることもあるため連携していきたい。

新病院では、市民の要望が多かった循環器科や脳神経外科などの診療科、ICU等救急部門の充実、回復期リハビリテーション病床

や健診・検査部門の強化を図っていく。

また、指定管理者と連携し、スタッフの確保に努めていきたい。

『その他の質問項目』

■市民病院の建設費とその許容範囲について

■暮らしや営業を守る上で

の緊急融資や市税の減免

制度拡充について

■平成一九年度決算を踏まえて

- ・「骨太方針2006」における自治体財政への影響について

- ・新たな観光の魅力にあわせて、宇佐美海水浴場等の遠浅の砂浜の魅力維持に力を注ぐべし
- ・ごみ減量化の諸施策と取り組みについて



移転に伴い、さらなる充実が求められる市民病院

新規事業であるインバウンド宣伝事業の成果を伺う



公明党  
橋田 一男 議員

本市でも多くの外国人観光客を見かけるようになってきたが、より一層の誘客を図るには、地域の特性を生かした観光振興策が必要と考える。

幸い本市には、四季折々の自然や豊富な温泉があり、それらの活用がポイントとなるが、新規事業として取り組んだインバウンド宣伝事業の成果を伺う。

着実に成果はあらわれており、より一層外国人観光客誘致を図る

市長

外国人観光客の関心が高い温泉を中心に情報発信を行うとともに、宿泊施設等の従業員へのおもてなし研修、外国語併記の案内看板



外国人観光客に対する「おもてなしハンドブック」

設置など、受け入れ体制の整備を進めており、平成一九年の宿泊客数が前年比約一六%増と着実に成果があらわれている。

今後の中長期的な視点で、より一層外国人観光客誘致を図っていく。

『その他の質問項目』

- 一九年度における行財政改革の取り組みについてとして二点
- 一九年度の財務状況を踏まえた今後の対策についてとして五点
- 一九年度決算の歳入についてとして三点
- 一九年度決算の歳出についてとして二点
- 一九年度決算を踏まえた今後の市政運営について

# 一般質問

## 5議員が登壇 市政全般について質問

(登壇順に掲載)

市道下方・海立線と市道宮川・桜ガ丘線の交差点への横断歩道設置について



会派民政 浅田良弘議員

鎌田地区では、交通安全に対する地域住民一人一人の意識向上により、事故件数が減少しているものの、危険箇所が多く、特に市道下方・海立線と市道宮川・桜ガ丘線の交差点は、変則的で見通しが悪く、横断歩道がないことから、通学時も含め、日常的に危険な箇所となっている。

そこで、地域住民の安全確保の観点から、早急に横断歩道の設置をすべきと考えるが、いかがか。

伊東警察署及び関係機関と引き続き協議していく

市長

当該交差点は、通学児童など横断する歩行者が多く

見受けられ、安全を確保するため、現在、伊東警察署に横断歩道の設置要望がされ、検討していると伺っている。

今後引き続き、伊東警察署及び関係機関と協議していきたい。

『その他の質問項目』

- 弁当注文販売方式の実績及び弁当購入に対する公費負担の考えは
- 中学校給食実施に向けた新組織構築の考えは
- ボランティアの推進を図る上で、生徒への地域行事の情報提供について
- 幼稚園、小・中学校等における奉仕作業で排出されたごみの対応について
- 市民に対する庁舎内会議室の貸し出しについて



「市道宮川・桜ガ丘線」の交差点

「元気のある商店街づくり応援事業」の創設について



正風・興志会 西島彰議員

「元気のある地域づくり応援事業」の成功を礎として、元気を失っている市内商店街の奮起を促す「元気のある商店街づくり応援事業」を提案するが、いかがか。

商店街活性化に効果があるので、研究・協議を進める

市長

全国的に商店街を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあることから、「元気のある商店街づくり応援事業補助金制度」を創設し、意欲ある商店街が実施するイベント、装飾等に所要の助成を図ることは、商店街の活性化を図る上で効果のある事業であるので、関係機関である伊東商工会議所と

研究・協議を重ねていく。

『その他の質問項目』

■使用料、市税等の収納について

- ・平成一九年度未収額と累計額及び今後の回収対策
- ・コンビニ収納の現況と成果

・静岡地方税滞納整理機構の現況と成果

■ごみ行政について

- ・家庭系ごみの戸別収集
- ・レジ袋の有料化とマイバッグ運動
- ・家電リサイクル法施行後の不法投棄の現状と今後の防止策

■子供を有害情報等から守る携帯電話環境づくりについて



商店街イベントの様子

産廃処理施設の拡張計画に対する対応について



日本共産党 重岡秀子議員

富戸の産業廃棄物処理施設は海洋公園付近にあり、縦四〇〇メートル、横一五〇メートルに近い大規模な施設で、コンクリートや陶磁器等の安定五品目の埋め立てを行う産業廃棄物安定型最終処分場として、昭和六三年から操業しており、当計画は、その区域を拡張しようとするものだが、同地は海に接近し、汚染物質が発生した場合、海に流失する危険性がある。

このような施設への許認可等については、県の管轄であるとのことだが、海が観光や産業にとつて大きな資源である本市として、対処すべきことがあるのではないか。

公害関係諸法令に反しないよう、要望している

市長

同施設は、立ち入り検査により、適正な管理がなされているとの県の報告や、安定品目を取り扱う最終処分場であること等を踏まえ、公害関係諸法令を遵守する施設ならば、計画地面積等の変更について、支障はない旨の回答を県に提出した。

事業者においては、住民説明会を開催し、本申請の準備を進めているとのことだが、本市として、公害関係諸法令に反することのないよう、要望している。

『その他の質問項目』

■教育関係現場の臨時職員

の現状と今後の対応  
■出張所業務の見直しや拡大が図れないか



富戸の産業廃棄物安定型最終処分場

スポーツ奨励金制度の導入について



清峰クラブ 井戸清司議員

ここ数年、スポーツや文化系における本市の小・中学生、高校生の活躍は顕著で、小学生のクラブチームの活躍を初め、個人・団体優秀な成績をおさめており、本市としても誇らしいことである。

しかしながら、強くなるほど遠征試合や合宿等の機会もふえ、家計を切り詰める等、経済的にも苦しい思いをしている家庭もあることから、スポーツ振興に向けた奨励金制度の導入について伺う。

スポーツ全国大会出場賞賜金交付要綱を制定した

市長

七月に、「伊東市スポーツ全国大会出場賞賜金交付

要綱」を制定しており、全日本小学生バレーボール大会全国大会への出場を果たした「深山クラブ」に、既に賞賜金が贈られている。

『その他の質問項目』

■環境問題、温室効果ガス排出削減への施策

- ・小・中学校における環境教育の充実
- ・焼却ごみ減量に向けた目的別の徹底

■安心・安全な都市生活への施策

- ・通学路の整備・安全対策
- ・危険箇所への信号の設置

■スポーツ振興について

- ・宇佐美中学校プールの一般への再開放の考えは
- ・小室山総合グラウンド整備の進捗状況と県事業での総合体育館建設



全日本小学生バレーボール大会静岡県大会で優勝した深山クラブ

ジェネリック医薬品(後発薬)の普及促進について



公明党  
鳥居康子議員

国民医療費が増加の一途をたどる中、今後の超高齢化社会に耐え得る医療保険制度の改革がなされており、医療費削減の観点から、ジェネリック医薬品の利用促進が言われているが、利用数が増えない状況から、本年四月より処方箋様式を変更する取り組みがなされた。ある自治体では、調剤費削減施策として、ジェネリック医薬品に切りかえた場合の削減金額の通知サービスを開始した。

処方箋様式を変更することで利用数はふえていくとも考えられるが、本市独自の促進策を講ずべきと考えるかがかか。

医療機関等と連携し使用促進を図っていく

市長

本市の国民健康保険事業における療養給付費は年々増加しており、特に調剤費は毎年一〇%以上の増加率を示している。国民健康保険事業運営の健全化を図るため、ジェネリック医薬品の普及促進を図ることは重要である。今後とも、使用促進を図るための方策について、医療機関等と連携し、調査、研究していきたい。

『その他の質問項目』

- 苦情が多い猫に関する指導要綱の制定について
- 介護支援ボランティア制度を実施すべきでは。また、高齢者の身の周りの軽易な困り事を支援する事業の立ち上げについて



ジェネリック医薬品(後発薬)使用促進の記事

議会を傍聴してみませんか?

市政に対する真剣な議論の様子を直接ご覧になってみてはいかがでしょう。傍聴席入り口で記名等をしていただくだけの簡単な手続きで傍聴することができますので、希望される方は、議会事務局までお越しください。

市議会図書室のご案内



市議会図書室には、昭和三四年からの市議会会議録を初め、官報、県公報、議会や行政に関する一般図書、伊東市発行の図書、法令集など、約七七〇冊を所蔵しており、市民の皆さんも、利用することができます。希望される方は、議会事務局(市役所低層棟三階)までお越しください。

なお、所蔵図書の一覧については、ホームページをごらんください。



傍聴席から見た議場

杉山議員が急逝

杉山利郎議員が八月十七日に急逝されました。開会冒頭、黙禱をささげ、全議員を代表して、大島春之議員が追悼演説を行いました。

多大なるご功績をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げます。



市議2期 享年59歳  
故杉山利郎議員



議員が市内において、次の行為を行うことは、公職選挙法で禁止されています。市民の皆様には、ご理解いただきますよう、お願いいたします。

- 答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状などの時候のあいさつ状(電報なども含まれる。)は出してはならない。
- 年賀、暑中見舞など、時候のあいさつを目的とした有料広告(新聞、雑誌、パンフレット等)は出してはならない。
- 政党、その他の政治団体や親族に対するものを除き、いかなる名義をもってしても、寄附をしてはならない。

# 常任委員会だより

～ 常任委員会審査の中から～

詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。

市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティーセンターにあるほか、ホームページでもごらんになれます。

## 総務委員会

問

最近、頻繁に発生するゲリラ豪雨等の大雨の際には、広報が聞こえにくく、FMも受信状況が安定せず、情報収集に苦慮している状況であるが、このような場合の情報伝達手段を伺う。

答

防災情報や火災の発生等の情報については、昨年度から携帯電話やパソコンへのメールマガジンでの配信をリアルタイムで行っており、今後、広く普及させたいと考えている。



問

メールマガジンによる広報

「ふるさと伊東応援基金」が新たに設置されたが、どのようなものか伺う。

答

今年度から実施された「ふるさと納税」による寄附金に対応するもので、一年間の寄附金を積み立て、翌年度の財源とするとともに、より透明性を確保するために、基金を設けた。

## 観光建設委員会

問

門脇駐車場の有料化から約半年が経過したが、その実績を伺う。また、有料化に伴う収益により城ヶ崎海岸遊歩道の整備を実施するのか。

答

当初、1日200台、3,650万円の年間収入を見込んでいたが、現況の駐車台数から判断すると、当初見込みの1.5倍から2倍近くになるのではないかと想定している。

また、遊歩道整備は富戸から赤沢まで既に計画が決定されており、その事業費に充当していく。



問

門脇駐車場(城ヶ崎海岸)

多くの観光イベントがある中で、参加者等の意見を集約するなど、反省点や改善点の検証をしているのか。

答

スクラップ・アンド・ビルドの観点から、日常的に事業の見直しを行い、取捨選択をしつつ、よりよいイベントの構築をしている。

## 福祉文教委員会

問

文化財管理センターを、より一層充実させるべきではないかと考えるが、いかがか。

答

本市の文化財資料が大量に保存されていると同時に、市史編さん委員から、同館の展示方法は非常に見やすく、多くの方に見ていただくべきであるとの高い評価を得ていることから、さらなる入館者数増に向け、活用を検討してまいりたい。



問

文化財管理センター

国民健康保険証の再交付の状況について伺う。

答

カード化に伴い、紛失や損傷される方がふえたと認識しているが、簡単な書式であり、本庁または出張所で申請いただければ、その場で速やかに再発行できる。

なお、不正申請等の防止のため、本人確認のできる身分証明書等の提示を求めている。

# 特別委員会中間報告

議会閉会中の委員会活動状況を報告します。



## 議会改革特別委員会

七月二十八日、委員会を開催し、常任委員会の行政視察を隔年実施とし、実施しない年の費用分を政務調査費の財源としてはどうかとする提案がされたが、視察地で直接触れることが大切であり、毎年実施すべし等の意見が出され、これを踏まえ協議が進められた。

政務調査費の制度化については、会派間の合意形成が難しく、個人調査活動旅費の使途拡大、日当及び宿泊費の見直しを要望する意見とあわせ、議員報酬の引き上げ等も含め、議員活動のための環境整備を優先すべしとの意見などが述べられた。

提案者からは、政務調査費の制度化に固執するものではなく、議会活動における財源確保のための提案であることが述べられた。

常任委員会の行政視察については、従来どおり毎年実施していくことが全会一

致で確認され、政務調査費については、条例化や金額設定等、検討事項が多岐にわたるため、新たなテーマとして改めて取り扱うことが確認された。

次に、三人の委員から今後の協議事項の提案がされ、それぞれの提案項目に関し、次回の委員会において精査を行うとともに、九月定例会で初めて全会計の決算審議を行った上での検証をすることが確認された。

## 医療問題特別委員会

七月二十九日、委員会を開催し、当局から、伊東市新病院建設基本設計プロポーザル（提案）の選定結果について説明がされ、最も優れた提案をした者として、(株)大建設東京事務所、次点者として(株)日建設計名古屋オフィスが選定されたとの報告がされた。

委員からは、選定理由やコスト面の違いなどに係る質疑があり、当局から以下の答弁がされた。「病院建

設について」、「災害、周辺地域、環境への配慮について」、「利用者に優しい病院について」、「病院機能について」の四つの大きな項目を二五の項目に細分化し、それに沿って評価をした。

その結果、大建設計が一〇〇〇点満点で七五五・二点、日建設計が七一八・二点であった。

また、総事業費は、最も安い提案が五八億三六〇〇万円、最も高い提案が八四億一〇〇〇万円であり、選定された大建設計は七七億二〇〇万円で、高い方から二番目の金額であった。

以上の答弁を踏まえ、委員から、採点評価と満点との乖離の部分のレベルアップ、本特別委員会における意見などを基本設計に反映させていく努力をお願いする旨の要望があり、当局から、評価の低かった部分は、それを補うよう基本設計に生かしていく旨の答弁があった。

## 編 集 後 記

秋も深まる中、今月は、伊東温泉の文化・歴史に触れる「東海館まつり」や「尻つみまつり」が行われます。

さて、市議会では、次年度の予算編成に議会の意見を反映させるため、これまで一二月定例会で行ってきた決算審議を、九月定例会に早めることとしました。

今後も、地方分権時代に対応した議会運営に係る改革を、さらに進めてまいりたいと思います。(委員長)

### 議会報編集委員会

- 委員長 西 島 彰
- 副委員長 楠 田 一 男
- 委 員 竹 田 昭 直
- ” 井 戸 清 司
- ” 重 岡 秀 子
- ” 稲 葉 正 仁

### 市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ  
伊東市大原二丁目一番一  
TEL (三三) 一九八一  
FAX (三八) 六九一六  
次回一二月定例会は  
一二月四日開会予定です。